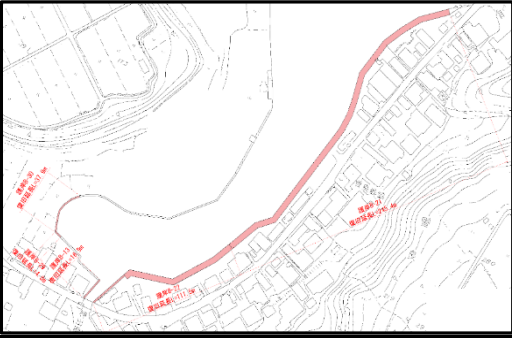


令和6年能登半島地震 被害・復旧状況カルテ

施設等名称	曽良漁港		
位置図	地番	曽良地先	
			
施設概要 発災当初の 状況	被害額	434,112,000	円
	護岸の水叩工、胸壁工の沈下、亀裂、破断、空洞化 物揚場のエプロンの沈下、亀裂、護岸の傾き 臨港道路の沈下、亀裂		
被害状況詳細	復旧延長 L = 416.5m 21号物揚場護岸 L=245.4m、22号物揚場護岸 L=111.5、 13号護岸 L=16.9m、30号護岸 L=37.9m、29号護岸 L=4.8m		
復旧状況 今後の方針 (R8.6.1現在)	6月11日災害査定実施 工事発注まで危険箇所はバリケード設置中 (護岸)(B-21・22)沈下したエプロンを打ち替える。傾きについては実施設計時に検討。 (B-13)破断した護岸を打ち替える。 (B-29)背後が吸い出されており、水中(不可視部)で損傷している可能性が高い。実施設計時に詳細調査を行い、復旧工法を検討する。 (B-30)沈下した水叩工を打ち替える。		
写真	撮影日時		
			